

株主メモ

| | |
|------------------------|---|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 期末配当金受領株主確定日 | 毎年3月31日 |
| 中間配当金受領株主確定日 | 毎年9月30日 |
| 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL:0120-094-777 (通話料無料) |
| 公告の方法 | 当社は以下のURLで電子公告を行います。 http://www.shizuki.co.jp/ ※事故その他のやむをえない事由により、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 市場第二部 |
| 単元株式数 | 100株 |

ご注意

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

『指月(シヅキ)』社名の由来

『指月』の社名は、創業者山本重雄が長州(現在の山口県)の出身であること、また幕末長州藩の一代家老として藩政改革で功を成した村田清風が先祖にあたることから、毛利家歴代の居城である萩城(指月城)から名をお借りしたのが命名の由来です。



株式会社 指月電機製作所

本社 〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号
TEL:0798-74-5821 FAX:0798-73-0807
URL www.shizuki.co.jp



株主通信

第91期 第2四半期報告書
2018年4月1日～2018年9月30日

メッセージ

将来につながる、技術と投資。
そして、社員一人ひとりの
行動変革を。



証券コード 6994 / 東証二部

株式会社 指月電機製作所



AIM2018 事業領域の10ドメイン



今回の主なトピックス

2019年3月 指月電機は80周年を迎えます

1939年3月に生まれた指月電機は、「技術のシヅキ」として産業の発展とともに成長。フィルムコンデンサにおいて業界随一を誇る存在として来年80周年を迎えます。

長期経営ビジョン・新中期経営計画を策定

80周年を前に、社員一人ひとりが次の10年を考え、指月グループの長期経営ビジョンとして「10年後の指月グループのあるべき姿」を策定いたしました。

→ 詳しくはP5・P6をご覧ください

実を結びはじめた、「成長事業」と「強化事業」の二層構造。

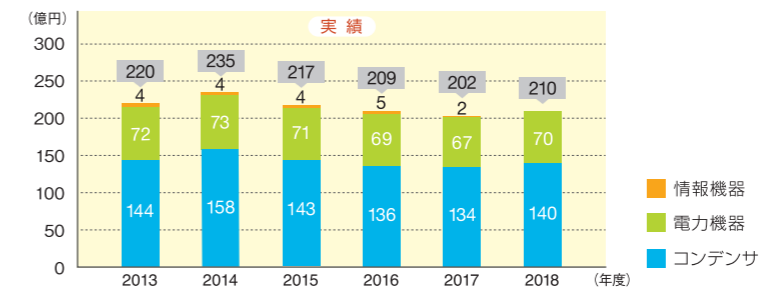
当第2四半期におけるわが国の経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、日本各地で豪雨や台風、地震などの自然災害が相次ぎ、地域の暮らしと経済活動に少なからぬ影響を与えています。被害を受けられました皆様には、心よりお見舞いを申し上げます。また、米国の保護主義に端を発する貿易摩擦から、世界経済においても依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような経営環境のもと、私たちシヅキは受注・売上の確保を進めてまいりました。その結果、当第2四半期の連結売上高は103億2千8百万円（前年同期比7.4%増加）となり、営業利益は4億8千7百万円（前年同期比33.5%増）、経常利益は6億5千5百万円（前年同期比21.5%増）と、過去最高の売上高・営業利益を達成した2014年度以来の増収増益となりました。

前号の株主通信にてご紹介したように、私たちは今、「成長事業」と「強化事業」という2軸に対して「選択と集中」をはかり、厚みのある収益構造を築こうとしています。当第2四半期はまさに、「成長事業」である自動車機器向けコンデンサと、「強化事業」のひとつである電鉄車輛向けコンデンサが、それぞれに計画超過となる好調な推移を見せ、増収増益の原動力となりました。今後も「成長」と「強化」をさらに推進し、より大きな成果を实らせていきたいと考えております。

代表執行役社長 伊藤 薫

売上高実績と計画



将来につながる、技術と投資。 そして、社員一人ひとりの行動変革を。

マーケットインへの行動変革。 もう一度、お客様中心のものづくりへ。

「成長」と「強化」。このふたつを確実に果たすために、私たちは今、さまざまな取り組みを進めています。そのひとつとして、今年度から「マーケットイン」への行動変革を推進しています。



これまでシヅキではコスト削減を追求したムダのないものづくり、そして、効率的な事業運営に力を注いできました。しかし、自社にとってはコスト削減の対象であっても、お客様にとってはムダではなく付加価値となっている場合もあります。こうしたことに気づかぬまま効率化ばかりを進めてしまうと、いつの間にか「プロダクトアウト」に寄った自社都合の考え方に陥ってしまい、お客様にとって必要なものまで削ってしまうかもしれません。

そこで私たちは、お客様中心の姿勢に立ち戻り、技術者が営業社員に同行して、積極的にご要望や課題をヒアリングさせていただき活動を進めています。まず、お客様が求めているものを知り、それに応えるために必要なことを考えていく。こうした意識を改めて一人ひとりが持ち、自社の都合よりもお客様にとっての「価値」を重要視したものづくりに取り組もうとしています。

「技術のシヅキ」への原点回帰で、 お客様のニーズを、かたちに変える。

これと併行して進めているのが、「技術のシヅキ」への原点回帰です。マーケットイン型の活動によって汲み取ったお客様のニーズ。それをかたちにするためには、「将来につながる技術」が必要になります。市場の求めるものを理解して、商品に変える技術。お客様さえ気づいていない潜在的なニーズを察知して、ソリューションを提供していく技術。こうしたものづくりを

2019年春に開設予定
兵庫県西宮の「コンデンサ研究開発棟」



行うためには、新しい技術を生み出すだけの研究開発力が求められます。

私たちはフィルムコンデンサにおいて業界随一の技術を培ってきた自負があり、新幹線から電力供給設備まで、さまざまな分野にコンデンサを送り出してきた長年の蓄積があります。しかし、蓄積だけでは時代のニーズに対応しきれなくなる日が、いずれやって来ます。こうした考えから、来たる2019年春に、兵庫県西宮に新たな「コンデンサ研究開発棟」を開設。電気自動車をはじめとする成長市場の新たなニーズに向けて、技術革新と商品開発を加速させていく所存です。

「投資先行」ではなく、 現実的な未来への「先行投資」を。

急拡大する市場に向けて研究開発力を磨く一方で、これまでシヅキの基盤を担ってきた既存事業についても、従来の設備のままでは、さらなる強化が難しくなっています。既存の商品に対する投資も検討すべき時期に来ており、将来的な市場のニーズとその規模を現実的に予測して、回収を見込んだ「先行投資」を行っていくことが大切です。

私は、投資には大きく二つのかたちがあると考えています。「先行投資」と「投資先行」です。経営に携わる者は、大きな市場に向けて何らかの投資を行わなければならないという強迫観念や、この需要は伸びるはずだという希望的観測にとらわれ、往々にして「投資先行」に陥りがちです。しかし、私たちシヅキは、

マーケットイン型の市場調査活動によって、しっかりと現場の声を拾い上げながら、より実現性の高い未来に向かって「先行投資」をしていきたいと思えます。夢だけを膨らませるのではなく、現実と地続きのものとして未来と向き合っていきたいと考えています。

80周年の先を見つめて、 社員主導で長期ビジョンを策定。

また、将来への技術革新と先行投資をより確かな歩みで進めるためには、社員一人ひとりが会社の目指す方向を理解し、会社のビジョンと自分たちの日々の行動をしっかりと結びつけていくことが重要だと考えています。シヅキでは、2019年3月に80周年を迎えるにあたり、各部門の社員たちがワーキンググループを結成して話し合いを重ね、「10年後の指月グループのあるべき姿」という長期ビジョンを策定しました（次ページにて、詳しくご紹介いたします）。「技術のシヅキへの原点回帰」という考え方も、社員たちの議論を通して生まれてきたものです。

未来のことは100%予測することができません。しかし、私たちは将来への現実的な予測を立て、社員一人ひとりがそこに向かって力強く歩んでいけるような社内風土を培っていききたい。80周年を前に、そんな想いを新たにしています。株主の皆様には、これからも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



HISTORY

2019年3月 指月電機は80周年を迎えます



「自分なりのコンデンサ工場をつくりたい」という野望を胸に秘め創業。社名は、毛利家の微臣だった祖先を偲び、「指月城」の名前をお借りした。

1939年3月10日、西宮市染殿町に個人経営の小さなコンデンサ工場が生まれました。同年10月、創業者の山本重雄は、さまざまな試行錯誤を経て「油含浸」という新しい技術を完成させ、日本初のオイルコンデンサを開発しました。それからシツキは、次々と市場に新商品を送り出し、「技術のシツキ」として産業の発展とともに成長を重ねてきました。テレビなどの家電製品や新幹線、太陽光発電、電気自動車。新しい技術が誕生するたびに、私たちシツキも新たな商品開発に挑み、フィルムコンデンサにおいて業界随一と自負し得るまでの技術を蓄積してまいりました。そして2019年3月10日、指月電機製作所は80周年を迎えます。皆様への感謝を胸に、これからもしっかりとお役に立てるよう、歩みを重ねてまいります。

VISION

長期経営ビジョン・新中期経営計画を策定

長期経営ビジョン

「10年後の指月グループのあるべき姿」

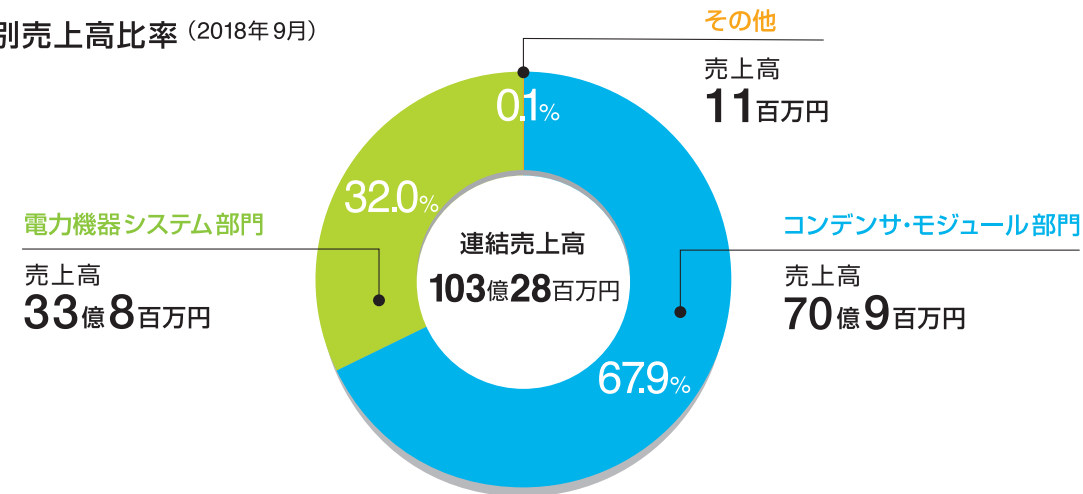
新中期経営計画



次の10年を考えた長期経営ビジョンをふまえ、新中期経営計画は3ステージに分けて進めていく。

80周年を前に、社員一人ひとりが次の10年を考え、指月グループの長期経営ビジョンとして「10年後の指月グループのあるべき姿」を策定いたしました。社員へのアンケートや論文の募集、タウンミーティングや個別ヒアリングを行い、さらに、各部門の若手社員を中心にワーキングチームを結成し、2018年2月からビジョン策定のための活動を開始。6月には役員提言も行いました。社員が主導となり、ボトムアップで経営ビジョンをつくり上げていきました。そして現在、この長期経営ビジョンをふまえ、次期中期経営計画の検討を進めています。来春にニュースリリースとして皆様に発表させていただく予定です。

■ 部門別売上高比率 (2018年9月)



売上高構成比率
67.9%

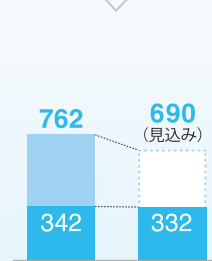
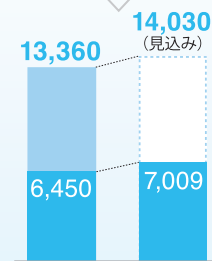
コンデンサ・モジュール部門

売上高 7,009百万円

営業利益 332百万円

前年同期比 +8.7%

前年同期比 △3.0%



2017年度 2018年度

2017年度 2018年度

■ 上期 ■ 下期 [単位:百万円]

ハイブリッド自動車用コンデンサおよび海外市場の産業用が好調に推移いたしました。結果、売上高は70億9百万円(前年同期比8.7%増加)となりました。

売上高構成比率
32.0%

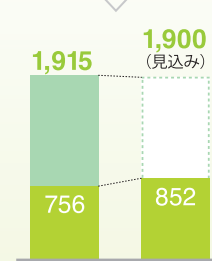
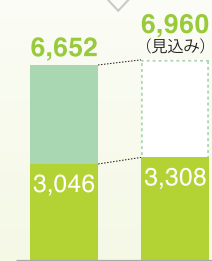
電力機器システム部門

売上高 3,308百万円

営業利益 852百万円

前年同期比 +8.6%

前年同期比 +12.8%



2017年度 2018年度

2017年度 2018年度

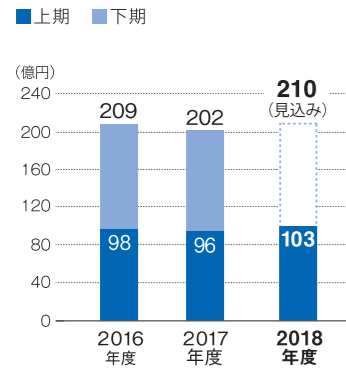
■ 上期 ■ 下期 [単位:百万円]

力率改善装置および電力品質改善装置が堅調に推移したほか、小型の瞬低補償装置が伸長いたしました。結果、売上高は33億8百万円(前年同期比8.6%増加)となりました。

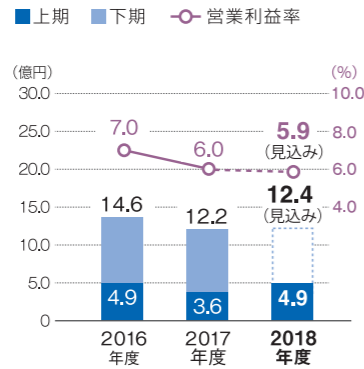
※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報機器システム事業であります。

※セグメント別の営業利益については、調整額△702百万円があります。(セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用)

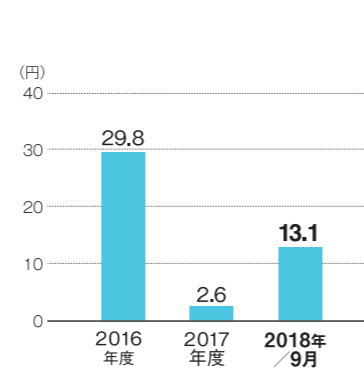
売上高



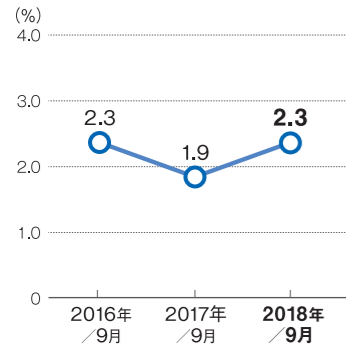
営業利益・営業利益率



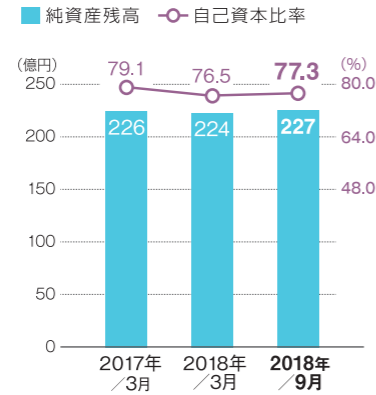
1株当たり利益(EPS)



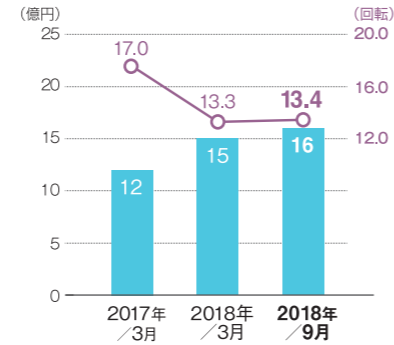
総資産経常利益率(ROA)



純資産残高・自己資本比率



棚卸資産残高・棚卸資産回転率



Point

業績面では売上は前年同期比7.4%の増収、営業利益、経常利益ともに増益となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年に情報機器システムの事業譲渡に伴う譲渡益や支店移転に伴う売却益が含まれていたこともあり、減益となりました。財務面では自己資本比率は約80%とさらに安定感が増しております。

(注)十万円の位を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

| 科目 | 第90期 第2四半期 2017年9月30日現在 | 第91期 第2四半期 2018年9月30日現在 |
|-----------------|----------------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 15,437 | 15,050 |
| 現金及び預金 | 6,812 | 6,140 |
| 受取手形売掛金及び電子記録債権 | 6,761 | 7,269 |
| 棚卸資産 | 1,357 | 1,569 |
| その他資産 | 506 | 71 |
| 有形固定資産 | 11,257 | 11,741 |
| 無形固定資産 | 89 | 85 |
| 投資その他の資産 | 2,110 | 2,114 |
| 資産合計 | 28,894 | 28,992 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 3,545 | 4,273 |
| 固定負債 | 1,969 | 2,012 |
| 負債合計 | 5,515 | 6,285 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 20,804 | 20,123 |
| 資本金 | 5,001 | 5,001 |
| 資本剰余金 | 4,276 | 4,276 |
| 利益剰余金 | 11,547 | 10,866 |
| 自己株式 | △20 | △21 |
| その他の包括利益累計額 | 2,314 | 2,281 |
| 非支配株主持分 | 259 | 302 |
| 純資産合計 | 23,378 | 22,707 |
| 負債純資産合計 | 28,894 | 28,992 |

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

| 科目 | 第90期 第2四半期 2017年4月1日から 2017年9月30日まで | 第91期 第2四半期 2018年4月1日から 2018年9月30日まで |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 9,612 | 10,328 |
| 売上原価 | 6,969 | 7,683 |
| 売上総利益 | 2,643 | 2,645 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,278 | 2,158 |
| 営業利益 | 364 | 487 |
| 営業外収益 | 233 | 259 |
| 営業外費用 | 59 | 90 |
| 経常利益 | 539 | 655 |
| 特別利益 | 366 | 66 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 905 | 722 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 26 | 233 |
| 法人税等調整額 | 26 | 36 |
| 四半期純利益 | 853 | 452 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 14 | 18 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 838 | 433 |

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

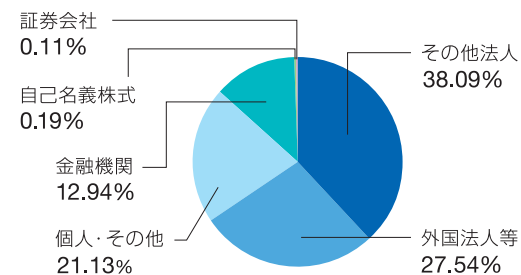
(単位:百万円)

| 科目 | 第90期 第2四半期 2017年4月1日から 2017年9月30日まで | 第91期 第2四半期 2018年4月1日から 2018年9月30日まで |
|------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 782 | 723 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △682 | △984 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △212 | △210 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 24 | 16 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | △88 | △453 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 6,901 | 6,594 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 6,812 | 6,140 |

株式の状況

| | |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 128,503,000株 |
| 発行済株式総数 | 33,061,003株 |
| 株主数 | 3,367名 |

所有者別株式数分布状況



株価の推移(円)



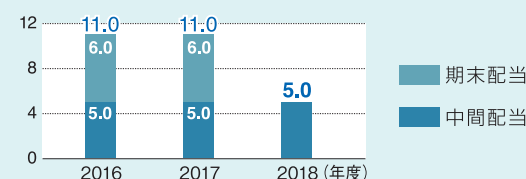
中間配当金 1株当たり 5円

1. 中間配当金 1株当たり5円
2. 支払対象者 2018年9月30日現在の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者
3. 支払開始日 2018年11月30日

大株主 (上位10名)

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|--|---------|---------|
| 三菱電機株式会社 | 6,980 | 21.11 |
| 株式会社村田製作所 | 4,471 | 13.52 |
| GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL | 4,210 | 12.73 |
| NOMURA PB NOMINEES TK1 LIMITED | 2,366 | 7.15 |
| 株式会社りそな銀行 | 1,299 | 3.92 |
| DEUTSCHE BANK AG LONDON GPF CLIENT OMNI-FULL TAX 613 | 1,177 | 3.56 |
| 株式会社みなと銀行 | 925 | 2.79 |
| 指月協友持株会 | 831 | 2.51 |
| 指月電機製作所自社株投資会 | 444 | 1.34 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 | 434 | 1.31 |

1株当たりの配当実績 (単位:円)



会社概要

商号 株式会社指月電機製作所
 英文名称 SHIZUKI ELECTRIC COMPANY INC.
 本店所在地 〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号
 TEL:0798-74-5821
 ホームページ <http://www.shizuki.co.jp/>
 創業年月日 1939年 3月10日
 設立年月日 1947年 9月 1日
 資本金 5,001,745,595円
 グループ人員数 1,362名
 主要取扱業務 ■コンデンサ及び関連機器・装置
 ■電力機器・装置 の製造販売

営業拠点

- 東京支社
- 東京支店 / 関西支店 / 中部支店
- 仙台営業所 / 日立営業所
 広島営業所 / 福岡営業所

生産子会社

| 社名 | 資本金 | 出資比率(%) |
|----------------|-----------|---------|
| 九州指月株式会社 (福岡県) | 300,000千円 | 100.0 |
| 秋田指月株式会社 (秋田県) | 300,000千円 | 100.0 |
| 岡山指月株式会社 (岡山県) | 300,000千円 | 100.0 |

関連会社

| 社名 | 資本金 | 出資比率(%) |
|----------------------|-----------|---------|
| 株式会社 村田指月 FCソリューションズ | 100,000千円 | 35.0 |

役員

取締役

| | |
|--------|--------|
| 取締役会会長 | 伊藤 薫* |
| 取締役 | 友松 哲也* |
| 取締役 | 山本 則彦 |
| 取締役 | 足達 信章* |
| 取締役 | 鳥川 光春* |
| 取締役 | 森 公利* |
| 取締役 | 谷 和義* |

*は執行役を兼任 ※は社外取締役

執行役

| | |
|---------|-------|
| 代表執行役社長 | 伊藤 薫 |
| 執行役副社長 | 足達 信章 |
| 常務執行役 | 友松 哲也 |
| 執行役 | 小田 敦 |
| 執行役 | 藤原 健吾 |
| 執行役 | 小山 義雄 |
| 執行役 | 相原 宏則 |

生産・販売子会社

| 社名 | 資本金 | 出資比率(%) |
|--------------------------|------------|---------|
| アメリカンシヅキ株式会社 (米国 ネブラスカ州) | 17,600千米ドル | 100.0 |
| タイ指月電機株式会社(タイ バンコク) | 33,000千バーツ | 70.0 |
| 指月獅子起(上海)貿易有限公司 | 250千米ドル | 100.0 |